

補者を指名させていただきます。

森会長より選考委員として、委員長：成沢会員、川村(邦)会員・山下会員・佐々木(公)会員・大和会員の5名が選任され新理事を選考する。

○選考委員会：成沢善次郎委員長より理事選考報告

1994～95年度理事として、濱 武会員・中野 亮 会員・西尾昌一会員・竹野 実会員・山崎英二会員・小笠原 孝 会員・森 秀樹 会長、が選任された旨報告があり、93～94年度総会を終了いたしました。

◎新入会員卓話 「気になる言葉」 佐々木速人 会員

最近自分で気が付いた言葉の中で「体質」と言う言葉につき、ご家族の例をあげられ、食物の嗜好、片寄った栄養等が身体に影響を与えていくと言う興味あるお話をして頂きました。

◎ 出席報告

会 員 数	68名	出 席 率	函 館 北 11月24日	92.19%
出 席 席	35名		函 館 東 11月23日	祝日休会
欠 席 席	33名		函 館 11月18日	93.05%
他クラブ出席	24名		函館五稜郭 11月19日	100.00%
出 席 合 計	59名		函 館 亀 田 11月22日	自主休会
除 外 者	4名			

次回・12月15日
プログラム

会員卓話「さるの話 PART II」

安 健 会員



函館北ロータリークラブ会報

□パートR. パース 国際ロータリー会長テーマ

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO DO WHAT YOU BELIEVE IN

森 秀樹 会長 今年度のテーマ

“出逢いを大切に、”



「ロマンチック街道」 椎谷 龍彦 会員

《第1469回例会》 第 22 号 12月15日 (水)

本日のプログラム

会員卓話「さるの話 PART II」

安 健 会員

★会 長 森 秀樹 ★幹 事 清水 孝信

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 ニチロビル3階 23-3870

12月8日の記録

- ◎司 会 森 秀樹 会長
- ◎斉 唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 函館R.C.梅津佐助君、函館五稜郭R.C.上出眞也君・高松雅彦君・大日向豊吉君・田村政志君
- ◎ゲ ス ト 北海道東照宮 宮司 大谷 長道 氏

◎会長報告 森 秀樹 会長

- 北村パストガバナー 4日急逝されました。謹んでご冥福を祈ります。
- 先般新聞紙上でご高覧戴いたと思いますが、斎藤会員が西警察署から、又中里会員が労働基準局からそれぞれ表彰されました。皆様とともにお喜びを申し上げます。(花束贈呈)
- 本日例会終了後会長経験者の皆様に暫時お残り戴きます。

◎副会長(会長エレクト)報告 濱 武 副会長

- 細則第1条第2節により(1週間以内に会合を開き以下の役職を定める)次年度理事役員の担当を発表します。

<1994~95年度 役員>

会 長	濱	武(理事)
副会長(会長エレクト)	中 野	亮(")クラブ奉仕委員長
	西 尾	昌一(")職業奉仕委員長
	竹 野	実(")社会奉仕委員長
	山 崎	英二(")国際奉仕委員長
	小笠原	孝(")青少年委員長
	森 秀 樹	(")直前会長
幹 事	大 野	章
会 計	毛 利	克 巳
S. A. A.	寺 西	昭一郎
副 幹 事	遠 藤	尚 孝

◎幹事報告 清水 孝信 幹事

- 他クラブ情報 12月16日(木)函館R.C.移動例会。
- 当クラブクリスマス家族会は12月22日(木)午後6時30分からです。早目にご出欠をお知らせ下さい。

◎親睦活動委員会 堀部 弘志 会員

ニコニコBOX投入報告

- 浜 会員……BOXに協力。
- 山本 会員…… "
- 大和 会員…… "
- 森 会長……寒くなりました。会員の皆様、健康に御注意下さい。
- 中里 会員……BOXに協力。
- 斎藤 会員……12月1日に函館西署から感謝状をいただきました。
- 西尾 会員……BOXに協力。
- 藤野 会員……クリスマス家族会をよろしく。
- 森 繁会員……BOXに協力。
- 小笠原会員……花束ありがとうございます。
- 金子 会員……BOXに協力。
- 村井 会員…… "
- 寺西 会員…… "

◎卓話 「お正月を迎えて」 北海道東照宮 宮司 大谷 長道 氏

本年はお米の不作や本道を襲ったあの忌わしい南西沖地震など、天変地異による災害の多い大変な年でした。しかし、人生曇る日もあれば明るい太陽が登る時もあります。明日の光を求め、幸せを求めながら新しい年を迎えなければならないと思う訳です。昔から一年の計は元旦にありとあって、新年を迎える日本人の心には独特のものがあ、普段は神参りをしない方も、この時だけは家族づれで初詣でに出かける方も多と思います。神道は私達の祖先が歩んで来た道で、祖先の人々の考え方・思想というものが非常に大きな位置を占めている訳です。ご承知のとおり、我が国は農業、特に稲作を基本に成り立った国です。"稲"とは命の

根です。日本人にとってはとても大切なものであり、米によって文化が生まれ、経済が成り立って来た訳です。この稲のことを昔の方は「とし」と言いました。としとは穀物の事です。春に種をまき、秋に刈り取るという一つのサイクルを、ひととし、つまり一年と言う訳です。この一年の初め、お正月においでになるお正月様は、穀物の神、つまりとしの神という訳です。この年神様がなぜ御来訪になるかという、春が訪れ種まきが始まる前に、魂も身体も健康で清らかにし、一生懸命働く為の人間の活動力である魂に、活力を与える為に来られる訳です。それで、この年神様を迎える為に色々な準備をします。例えば、家の大掃除をしたり、障子を張り替えたり、門松を立てたり、しめ縄を張ったりする。門松は常緑樹で神のよりしろですし、しめ縄も聖域を表わす象徴です。又、罪や穢れを祓い清めたり、厄をおとしたりしなければなりません。二月の節分に厄祓いをしますが、これもその名残りです。昔の暦では節分の直前がお正月であったり、節分とお正月が重なったりする事があったからです。お正月には神様と人間の魂と魂が触れ合うことで、生命の再生・更新を行うという目的があるのですが、こういう思想は先日行われたお伊勢さんの遷宮という神事にも見られます。二十年毎に新しいお社に建て替え、ここに入らせていただくことで、神様のみたまが鎮まり、新しい神となって人間と共に生きていくという大きな意味を持っているのです。もっと身近な例では、お祓いがあります。人間の心の中には良い心を司る直霊の神と、悪い心を司る曲霊の神とがおられます。曲霊の神は暗黒の世界、地の底から来ると言われ、直霊の神は明るい世界、天から来られ、我々の犯した曲がったでき事を軌道修正して下さると言われます。この二つの神の戦いが私達の心の中でいつもおこっているのです。ですから、仕事でストレスが溜り、疲れて、魂が曇ると、ついふらふらと曲霊の神の誘いに乗って、とんでもない事をしでかしたりするのです。たまにストレスを解消する為に、会社帰りにスナックへ寄って、カラオケでも歌って帰る。これもリフレッシュ、いわゆる祓い的一种なんです。しかし、一般の方はそういう事を普段あまり考えておられませんので、二次会・三次会…と、つい飲みすぎて、祓いのはずが逆に体に害をする事もままあるようです。この様に、私たちは魂をリフレッシュしなければ生きて行けないのです。そういう意味で、お正月様に魂をリフレッシュして頂いて、またこの一年をもりもりと仕事に勢を出して働くんだ、という決意の日。これがお正月の一番大事な

精神です。大晦日には、身も心も家も清め、更に清められた火、清められた水を使ってご馳走も作ります。又、お寺では除夜の鐘が打ち鳴らされますが、人間の百八つの煩惱を百八つの鐘の音ではらうという思想は、日本人が古来から行って来た神道の祓いの精神を、仏教に取り入れたものといえます。お正月三日は一切仕事をしない事になっておりますが、なぜかという、神様を迎えてご馳走しておもてなしをし、魂と魂の交流をする、いわゆるものいみの日だからです。このものいみの日の事を「晴れの日」と言います。ですから、晴れの日に着る着物を「晴れ着」と言うのです。これに対して通常の日を「食の日(けの日)」と言います。日常食をとる日ということでしょう。一月を「むつき」と言いますが、これは、人間の魂と神様の魂とが睦み合うという意味から来ています。二月はいよいよ魂が躍動して、万物の生命が芽をふき出す時という事で、更に生まれるという意味で「きさらぎ」と言います。三月の「やよい、もいよいよ生い茂る」という意味です。この様に、日本においては、全てが神に結びつかないものはないという程です。こういった事が、日本で古来から行なわれて来た、正しいお正月の意義です。従って、お正月には心が改まるという意味もお解り頂けたと思います。さて、折角の機会ですので、しめ飾りの意義についてもお話しします。お神は神様のよりしろ、だいたい先祖代々子孫孫までいや栄えに栄えるという意味、ゆずり葉は譲り合う心、互譲の精神を表わし、うらじろは裏が白い、つまり心が潔白である事を意味します。しめ縄は、うず潮や竜巻などの自然現象に神秘の力を見出し、畏れ謹む心を象徴したものであり、人生そのものが、壁にぶつかりながらも螺旋階段を一段一段登っていく様に人間が形成されていくといった意味をも含んでいるのです。日本の神様はやおよろずの神といって、森羅万象ことごとく神とみるのですが、自然そのものが神ではなく、その中に働く力・エネルギーといったものに神性をみる訳です。自然の一員である人間が、いわば仲間である自然物を殺りく、殺傷しながら生命を維持しなければならない。だからこそ、神とあがめ、畏れ謹んでおもてなしをして感謝の誠を捧げ、手を合わせる。こういった基本に立ち返った思想が我々日本人の祖先の考え方です。これが全ての規範であり、励みであり、真っ直ぐに生きることのバックボーンになる。これが日本の神なんです。ですから、キリスト教の神とは全く質を異にする訳です。最後に神様を拝む作法についてですが、まず正面に向かって軽く一礼をします。それ

から深く90度くらいまで背を曲げて2回礼をする。そして手を合わせ、一関節引いてから肩巾に開き、一つ二つと合わせます。更に一礼をして下がる時に軽くもう一礼する。信仰がちがっても、こういった事を身につけておくことは、ジェントルマンとして大事な事だと思います。参考にして頂ければと思います。

★お知らせ

佐々木速人会員の会社に変更になりましたので、合同名簿等のご訂正をお願い致します。

例) システム カノウ 例) 専務取締役
041 中道2丁目45番10号
TEL (0138) 54-2661
FAX (0138) 54-2884

出席報告

会 員 数	68名	出 席 率	函 館 北 12月 1日	89.55%
出 席	52名		函 館 東 11月30日	88.63%
欠 席	16名		函 館 11月25日	93.53%
他クラブ出席	8名		函館五稜郭 11月26日	100.00%
出席合計	60名		函館亀田 11月29日	86.54%
除 外 者	1名			

次回・12月22日
プログラム

「家族クリスマス会」

函館国際ホテル 18時30分



函館北ロータリークラブ会報

ロバートR.バース 国際ロータリー会長テーマ

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO DO WHAT YOU BELIEVE IN

森 秀樹会長 今年度のテーマ

“出逢いを大切に、”



「ロマンチック街道」 椎谷 龍彦 会員

《第1470回例会》 第23号 12月22日(水)

本日のプログラム

「家族クリスマス会」

函館国際ホテル 18時30分

★会 長 森 秀樹 ★幹 事 清水 孝信